

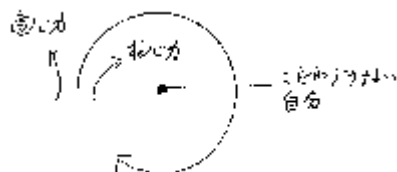
「仏家の風」

麻谷山宝徹禅師 あふぎをつかう
ちなみに 僧きたりてとふ
風性常住 無処不周なり
なにをもてか さらに和尚 あふぎをつかふ
師いはく
なんぢただ風性常住をしれりとも
いまだところとして いたらず ということなき
道理をしらずと
僧いはく
いかならんか これ無処不周底の道理
ときに師あふぎをつかうのみなり
僧礼拝す

仏法の修験 正伝の活路 それかくのごとし
常住なれば あふぎをつかふべからず
つかはぬおりも 風をきくべしというは
常住をもしらず 風性をもしらぬなり
風性は常住なるがゆゑに 仏家の風は
大地の黄金なるを 現成せしめ
長河の酥酪を参熟せり

～ 道元禅師 現成公案より ～

- 禅は頭で理解する教え(仏教学)ではなく実践=行動する仏道である。
- 扇で扇ぐという行動を起こしたことにより風が生じる。
- ビジネスの世界で一番嫌うタイプ → 評論家タイプ
- ビジネスは実践・行動の世界。いくら知識やノウハウがあっても実践=行動しなければなんの役にも立たない。
- 自らこだわり無く行動することが大切。→ 自分が主人公
- 自ら行動することで他人を巻き込んでいく(求心力)。
巻き込まれない人は弾き飛ばされていく(遠心力)。



- ビジネススピードのアップは自分の行動をスピードアップすること。
- 道元禅師「生死事大 光陰可借 無情迅速 時不待人」